

共同プレス発表（日本語仮訳）

2009年11月25日、東京

1. エドワルド・ナルバンジャン・アルメニア共和国外務大臣は、日本国政府の招待により、2009年11月25日から28日まで日本国を訪問し、11月25日に岡田克也日本国外務大臣と会談を行った。同会談で、両外相は二国間関係及び相互に関心を有する国際的な問題を含む幅広い諸問題について議論を行った。
2. 双方は、様々な分野における協力に向けた互恵的イニシアチブを確認し後押しすることで、日アルメニア間の政治対話と経済関係を発展させることの重要性を強調した。この関連で、双方は、二国間関係及び他の相互に関心を有する国際問題を含む幅広い諸問題について議論するために、両国の外務省間での定期的な二国間協議を開催することを決定した。
3. 双方は、両国の議会間交流を発展させることの重要性について言及した。
4. 双方は、二国間の貿易及び投資促進のための相互訪問を含む両国経済界間の交流の重要性を強調し、また様々な分野における経済関係が更に強化されることへの期待を表明した。アルメニア側は、同国における日本企業の活動を歓迎し、また、同国においてその拠点が拡大することを歓迎した。
5. 双方は、二国間の人的及び文化的交流の強化は相互理解の醸成にとって重要な事項であるとの認識を共有するとともに科学及び教育の分野における協力を拡大させることを決意した。
6. アルメニア側は、日本側からのエレバン・コジェネレーション火力複合発電所建設事業円借款プロジェクト、無償資金協力による貧困農民支援及びエレバン市消防機材整備計画などをはじめ、日本国がアルメニアの経済発展のために一貫して実施してきた政府開発援助（ODA）に対し、謝意を表明するとともに、日本側による協力継続への期待を表明した。
7. 双方は、OSCE ミンスク・グループのプロセスにおけるナゴルノ・カラバフ紛争を解決する努力について意見交換を行い、武力の不行使、領土保全及び人民の自決などの国際法の諸原則及び諸規範に基づく紛争の平和的解決に対する支持を表明した。
8. 双方は、アルメニアとトルコの間関係正常化プロセスについて意見交換を行った。これに関して、日本側は、2009年10月10日に行われたチューリッヒにおけるアルメニア・トルコ間の議定書署名など、アルメニアとトルコの間関係正常化に向けた努力を、地域の平和と安定に寄与するものとして歓迎し、またその合意文書の批准及び履行の重要性について強調した。

9. 双方は、ヨーロッパ及びアジア大洋州地域における永続的な安全、恒久の平和及び共通の繁栄のため、バランスのとれたアプローチの堅持しつつ、国連諸機関及び国際機関における緊密な協力への期待を表明した。また、双方は、常任及び非常任理事国の双方の議席拡大を含む国連安全保障理事会の改革の早期実現のために共に取り組んでいく決意を表明した。この関連で、アルメニア側は、日本側の国連安保理の常任理事国となることに対する強い支持を改めて表明し、これに対して、日本側は、同国の支持に深い謝意を表明した。

(了)